

令和4年度（2022年）事業計画

〔(一社)北房観光協会〕

〔基本方針〕

(一社)北房観光協会は、「北房地区の観光事業の健全なる発展を図り、地域の経済文化の向上に寄与する」ことを目的に令和元年に法人化して事業を進めております。これまで進めてきた農泊事業（北房まちの駅の宿泊事業、物販事業、体験事業）の更なる推進と、お試し住宅事業による定住促進事業を進めると共に、今年6月日本財団事業の渚の交番プロジェクト「里山里海交流館しんぴお」の完成により、大きなチャレンジの年を迎えます。地域課題の解決を図る為にも、森里海連環に関する事業推進を中心に、真庭観光局と連携したオール真庭態勢で、観光振興に努めてまいります。

1. 事業内容

(1) 農泊推進事業 [1,884,000円]

① 宿泊滞在推進事業

- ・北房まちの駅 年間宿泊見込み数 (560人) 売り上げ見込み額 (1,700,000円)

② 物販事業

- ・北房ホテルうどん、ほたるの雫等の年間売上見込み額 (184,000円)

③ 体験事業

- ・パワースポット巡り(サイクリング体験)
- ・超田舎体験
- ・農業体験

(2) 定住促進事業 [1,440,000円]

① お試し住宅への移住者増強

- ・旧教員住宅の活用による定住促進
- ・お試し住宅 入居見込み数 (9人) 売り上げ見込み額 (1,440,000円)

(3) 渚の交番事業 [2,104,000円]

- ・森里海連環 VR 学習、源流鍾乳洞探検
- ・備中川の源流探検、清掃活動
- ・水辺のあそび体験
- ・食の交流体験

2. 組織運営

① 会員募集

- ・「里山里海交流館しんぴお」の活動開始に伴い、会員、賛助会員の募集を検討します。

② 日本財団事業の「渚の交番プロジェクト(里山・里海教育プログラム)」に向けた組織体制の構築

- ・渚の交番プロジェクトを実施する中で、スタッフの育成を行います。
- ・新たな体験メニューの開発を行います。